

2) 工学部優秀教育者表彰（ティーチングアワード）

H24 年度ティーチングアワード投票に基づくアワード科目および教員の選考方法を以下に記す。

【選考方法】

昨年の方法を踏襲しつつ多くの教育者へ受賞機会を与え、教育質向上の取組みをエンカレッジするという目的で、昨年表1のように変更した。当初の目的にもかなっており、様子を見る上でも、この方法を続けることが好ましいと FD 委員会として判断した上で、今年度は、投票時に2科目を選ぶ方式とし、従来の1科目よりも選択の幅を広くした。

表 1. 選考案(昨年から取り入れた手法)とそれ以前の従来法の比較(赤は今年度の変更点)

	新手法	従来法
対象学年	工学部 1～3 年次学生	
評価方法	評点 = (得票数) / (その科目の受講者数) × (その学年での開講科目数)	
投票方法	推薦する2科目を選択。必修科目やそれ以外の科目に関わらず自由に2科目を選択。科目の重みづけはなし。	
表彰対象	工学部開講科目中、最も良かった授業クラス単位に対し、各学科原則 1 科目（情報電気電子工学科では 2 科目）選出する。 ただし、前年度表彰科目の連続受賞、1～2 年次選択必修または自由選択科目の上位ランキング入りが生じた場合、その点を考慮して 1 科目（情報電気電子工学科は 2 科目以内）追加選出することができる。	工学部開講科目中、最も良かった授業クラス単位に対し、各学科原則 1 位の科目 1 件（情報電気電子工学科は 2 件）選出する。
表彰・評価	表彰状・副賞（アワード盾） 工学部 FD 報告書への掲載 その他、以下の特典あり。 ① 工学部ホームページへの受賞者公表 ② 各種教育プログラムでの発表機会の提供 ③ 教育業績としてカウント可能	表彰状・副賞（アワード盾） 工学部 FD 報告書への掲載

【新手法への移行メリット】

- ・現行システム(従来法)と選考手順や事務処理の負担を増大させることなく、表彰する対象科目(教員)を増やすことができる。
- ・受賞者が各種特典を受けられるとともに、教育業績が増える。
- ・投票を 2 科目としたことにより、表彰対象科目のバリエーションが広がる可能性がある。

表1. 工学部優秀教育者表彰(ティーチングアワード)過去12年間の科目別受賞率(参考)

科目種別	受賞科目数	受賞率 内訳 %	1年次		2年次		3年次	
			科目数	受賞率 内訳 %	科目数	受賞率 内訳 %	科目数	受賞率 内訳 %
必修	62	60.8	14	87.5	31	68.9	17	41.5
選択必修	16	15.7	0	0.0	9	20.0	7	17.1
推奨	3	2.9	1	6.3	0	0.0	2	4.9
自由選択	21	20.6	1	6.3	5	11.1	15	36.6
合計	102	100	16	100	45	100	41	100

3. 実施スケジュール

平成 24 年

12月21日(金)

ティーチングアワードの対象科目, 実施予定日調査依頼提出、TA 学生(院生)報告締め切り

平成 25 年

1月7日(月) ティーチングアワードの広報開始 ポスター・委員長名でのメールでの案内

1月11日(金) 予定 TA 学生担当者(大学院)への説明会

1月15日(水)～25日(金) 投票期間 各学科、各学年(1-3年)必修授業において投票

1月28日(月・仮)開票・FD委員会 TAと委員全員で集計

集計結果を元に、学科に持ち帰って候補者の選定 → FD委員会 → 教授会へ報告

4月25日(木) 優秀教育者表彰式および学生・教員相互接触型授業の検討会

IV. 各年度の受賞者

年度	物質生命化学	マテリアル (知能生産システム (メテリアル系))	機械システム (知能生産システム (機械系))	社会環境 (環境システム (土木環境系))	建築 (環境システム (建築系))	情報電気電子		数理
						電気システム	数理情報システム	
2001	榊 茂好 「物理化学第一」 2年/自由選択	頼田 英機 「工業材料基礎」 1年/必修	原田 博之 「微分方程式A」 1年/必修	小林 一郎 「歴史と景観」 1年/自由選択	桂 英昭 「建築設計演習第三」 3年/必修	佐々木 守 「論理回路」 1年/推奨	金 大弘 「解析システム基礎第一」 1年/必修	
2002	國武 雅司 「高分子物性」 2年/必修、2年/自由選択	河原 正泰 「製錬プロセス工学」 3年/選択必修	原田 博之 「ロボット工学」 3年/自由選択	大津 政康 「環境と材料」 2年/必修	桂 英昭 「建築設計演習第四」 3年/必修	秋山 秀典 「光電工学」 3年/推奨、3年/自由選択	宇佐川 毅 「音響情報工学」 3年/選択必修	
2003	井原 敏博 「分析化学第一」 2年/必修	三浦 秀士 「粉体プロセス工学」 3年/選択必修	原田 博之 「ロボット工学」 3年/自由選択	山田 文彦 「海岸環境学」 3年/自由選択	桂 英昭 「建築設計演習第四」 3年/必修	井上 高宏、秋山 秀典 「電子回路応用」「光電工学」 3年/推奨、3年/自由選択 (両科目とも)	宇佐川 毅 「情報計測」 2年/選択必修	
2004	町田 正人 「物理化学第一、第二」 2年/自由選択、2年/必修	西田 稔 「相変態論」 3年/選択必修	岩井 善太 「振動工学」 2年/必修	大津 政康 「環境と材料」 2年/必修	村上 聖 「鉄筋コンクリート構造第一、第二」 3年/必修	緒方 公一 「計算システム工学」 2年/必修	宇佐川 毅 「音響情報工学」 3年/自由選択	
2005	町田 正人 「物理化学第一」 2年/自由選択	西田 稔 「状態図と熱力学」 2年/必修	岩井 善太 「振動工学」 2年/必修	山尾 敏孝 「構造力学第三」 2年/必修	牧野 雄二 「構造力学第三」 2年/必修	林田 祐樹 「計算システム工学演習」 2年/必修	汐月 哲夫 「情報機械システム」 3年/選択必修	
2006	井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修	頼田 英機 「マテリアル工学基礎」 1年/必修	峠 睦 「機械製図及びCAD演習」 1年/必修	大津 政康 「環境と材料」 1年/必修	田中 智之、伊東 龍一 「建築設計演習第二」 3年/必修	末吉 哲郎、林田 祐樹 「基礎数学演習第一」・「計算システム工学演習」 1年/必修 2年/必修		
2007	井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修	森園 靖浩 「固体力学」 2年/必修	丸茂 康男 「材料力学第一」 2年/必修	山尾 敏孝 「構造の力学」 2年/必修	西角 光男、大西 康伸、桂 英昭、田中 智之 「建築設計演習第四」 3年/必修	宇佐川 毅、松永 信智 「音響情報工学」 3年/自由選択 「制御工学第一」 2年/必修		
2008	井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修	河原 正泰 「腐食と電気化学」 2年/必修	宗像 瑞恵 「流体力学第二」 2年/選択必修	椋木 俊文 「社会環境工学実験」 3年/自由選択	植田 宏、田中 智之 「図形表現」 1年/必修	末吉 哲郎、松永 信智 「基礎数学演習第一」・「制御工学第一」 1年/必修 2年/必修		岩佐 学 「微分方程式」 1年/必修
2009	井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修	山崎 倫昭 「腐食と電気化学」 2年/必修	宗像 瑞恵 「流体力学第二(2組)」 2年/選択必修	椋木 俊文 「地盤環境学」 2年/選択必修	伊藤 重剛 「西洋建築史第二」 2年/自由選択	秋山 秀典、松永 信智 「高電圧パルスパワー工学」「制御系設計論」 3年/自由選択 3年/自由選択		城本 啓介 「数理融合第一」 3年/選択必修
2010	井原 敏博 「分析化学第二」 3年/必修	山崎 倫昭 「腐食と電気化学」 2年/必修	宗像 瑞恵 「コンピュータサイエンス入門」 1年/必修	椋木 俊文 「地盤環境学」 2年/選択必修	桂 英昭 「建築計画第二」 2年/必修	西本 昌彦、松永 信智 「電気回路第一」「制御工学第一」 1年/必修 2年/必修		城本 啓介 「数理融合第一」 3年/選択必修
2011	鯉沼 陸央 「無機化学第二」 2年/必修	山崎 倫昭 「腐食と電気化学」 2年/必修	宗像 瑞恵 「流体力学第二」 2年/選択必修	山田 文彦 「流体の力学」 2年/必修	桂 英昭 「建築設計演習第四(2)」 3年/必修	中村 有水 「量子力学」 3年/自由選択		金 大弘 「微分方程式」 1年/必修
		グレック・アーム ストロング 「英悟 D1・D2」 3年/必修	公文 誠 「制御工学第一」 3年/必修	椋木 俊文 「地盤環境学」 2年/選択必修		宇佐川 毅 「デジタル信号処理第一 (B組)」 2年/必修		
2012	鯉沼 陸央 「無機化学第二」 2年/必修	グレック・アーム ストロング 「英悟 D1・D2」 3年/必修	宗像 瑞恵 「流体力学第二」 2年/選択必修 「コンピュータサイエンス入門」 1年/必修	星野裕司、葛西 昭 「社会基盤設計」 3年/自由選択	田中 智之 「建築設計演習第四」 3年/必修	宇佐川 毅 「音響情報工学」 3年/自由選択		城本 啓介 「情報数学第一」 2年/選択必修
	相良 一広 「英悟 D」 3年/必修	森園 靖浩 「マテリアルの拡散」 2年/必修	小糸 康志 「熱力学第一」 2年/必修		矢野 隆、川井 敬二、長谷川 麻子 「建築環境工学演習」 3年/自由選択	中村 有水 「量子力学」 3年/自由選択		

必修 選択必修 推奨 自由選択